

## 憲法施行 75 年 / 「敵基地攻撃」に想う



12月の朝日川柳に「敵基地の兵士も母や妻もいて」（金正則）の句が掲載されていました。100代目の首相になった岸田首相は、国会での新政権所信演説で「敵基地攻撃」を本格的に検討すると述べ、安部元首相が退陣時に発表した「首相談話」の路線を引き継ぐと表明しました。しかし国の存立の問題であるにも拘わらずメディアや野党の国会質問などでは真剣な議論がみられませんでした。米中対立やアジアの緊張が声高に叫ばれるなかで、あたかも既成事実として扱われようとしています。

今年憲法は施行 75 年を迎えます。他国との戦争を放棄するとした 9 条を持つわが国は「敵基地攻撃」という防衛政策の大転換をどのように捉えるべきなのでしょう。「専守防衛」の原則から大きく踏み出し、なし崩しに攻撃能力を高める軍事戦略はアジア諸国にどう映るのでしょうか。中国や北朝鮮の脅威を煽り、日米軍事同盟の強化と一体化をはかり軍事費を GNP2% に拡大することは、憲法 9 条との衝突を極限までの危機に陥れます。

軍事評論家は次のように述べています。「現在の軍事技術では敵のミサイル攻撃を事前に察知する事は不可能。ミサイルにはもはや基地というものも存在せず、発射装置は基地に固定化されたものでなく車や鉄道などの移動式や潜水艦などからも発射可能である。偵察衛星をもってしても事前察知はできない。さらに開発が進む極超音速滑空ミサイルではミサイル防衛そのものが困難である」「敵基地攻撃は先制攻撃そのものであり全面戦争の引き金となり日本の原発が狙われれば国家存亡の大惨事となることは必定である」

この間日本では、特定秘密保護法や「戦争法」が体系的に整備されアメリカの核戦略を中心とする軍事体制に一層組み込まれさらに先制攻撃を可能とする体制づくりが進もうとしています。戦後自民党政権は一貫として憲法を空洞化し「理想」「きれいごと」だと国民に思わせてきました。憲法の前文には「われわれは、いずれの国家も自国のことのみで専念し他国を無視してはならない」とあります。

戦争は社会の分断や貧困、格差拡大の延長にあるのは歴史の示すところです。戦争による多くの犠牲や悲惨の上に生まれた日本国憲法・9条をもう一度われわれの手に取り戻すことが大切だと思っています。

故中村哲さんは著書で「戦争をなくすために戦争を準備する欺瞞や身勝手を正義と言えるのか」と述べています。

(春日台 Y.0 記)

### つどいのお知らせ

- 2022年1月16日(日) 1月のつどい 「ミャンマーの現状と民主化について」  
西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00  
参加費 300円 (学生さんは無料) ※詳しくはチラシをご覧ください
- 2022年2月20日(日) 年次総会  
西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00

### Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は 2月1日(火) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## Web サイトでの「太平洋戦争」は？

12月8日～12日まで兵庫区の妙法華院で開催された兵庫の「語りつごう戦争」展に関わっている関係から、WEBサイトで「太平洋戦争」をチェックしました。

サイトを順番に見ると太平洋戦争の原因を主に「米国が日本に対して石油を禁輸したため、やむを得ず開戦した」との論調です。

日本軍の「大東亜共栄圏」の名による侵略戦争での死亡者は、日本軍230万人、戦災によって80万人合計310万人(厚生省)、アメリカ兵16万人、アジア各国を合わせると2000万人以上となっています。

「Wikipedia」の記述では「日中戦争(支那事変)は中国の日本人への迫害・虐殺、中国からの攻撃により発生した」と。また、太平洋戦争の評価については、「侵略戦争論」から「米英から戦争に追い込まれた」など10ほどの意見を併記。総じてWEBサイトでは、「太平洋戦争は仕方なく行ったもので、無差別爆弾と原爆で被害を受けた日本」との論調でアジア太平洋戦争の責任を免罪しています。

ところで、防衛省が今年初めて「あたらしい防衛白書」(小学校高学年以上向け)を発行し、日本周辺の安全保障環境、自衛隊の必要性、自衛官の活躍などが分かりやすい言葉で説明しています。内容は中国、朝鮮半島、ロシア、インド太平洋地域での軍事的危機感を煽り、日本の防衛力は絶対必要だという意識が高揚するように作成されています。

私はこうした「戦争する国づくり」を許さないため、戦争の真実を伝えていくことが大切だと思います。(竹の台 島田)

12月のつどいは、講師を招かず、会員が話題を提起して、みんなでざっくばらんに討論する形式にしました。参加者は15名。

3つの話題は、「衆議院選挙結果の分析」「SDGs(国連が提起した持続可能な開発目標)について」「一人ひとりの憲法」どれも、勉強になる豊かな内容だった。

衆議院選挙結果は、総務省の資料から分析しても「野党共闘は失敗だった」という結果にならない。マスコミ報道の問題が浮き彫りにされた。小選挙区制度や投票率の問題、とりわけ、76%の投票率のドイツとの比較も興味深い話だった。

SDGsについては、まだ知られていない面もあり、疑問点がだされた。しかし、気候変動に対するヨーロッパでの若者たちの運動は力強く、確実にひろがっており、そのことをもっと知るべきだという意見がでた。「一人ひとりの憲法」は、著名人たちの「私にとっての憲法」という本の言葉を紹介し、そのことばを味わった。憲法前文の信頼という言葉をめぐる、中国の問題とからんで意見が白熱する場面もあった。信頼という言葉にもさまざまな捉え方があると思った。また、12月1日の1の日行動で、なかにし礼さんの「君は戦争に行ってはならない」という言葉をプラカードで掲げると、若い人たちと対話になったということが紹介された。言葉が若い人に響いたと思った。

まだまだ話し足りない・・・

そんな「12月のつどい」になりました。

角屋克子

ジョー旬

ひめゆりの 土地ドロ靴を ゆるさず (田)  
元旦や 昨日(きのう)と同じ 朝だった(骨歩)

[neginokai9@yahoo.co.jp](mailto:neginokai9@yahoo.co.jp)

に投稿お待ちしております。

2022年1月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

## オミクロン株大流行が示した「日米地位協定」の不合理さ!



今回のオミクロン株が沖縄県、山口県、広島県で急速に拡大したのは、米軍基地由来であることが明白になりました。岸田首相は当初の答弁では「感染ルートを特定するのは難しい」とし、沖縄県からの米軍関係者の入国停止、外出禁止の要望に対しては「日米同盟の抑止力の観点から入国禁止という話とは違う」と国民の命より米軍優先の回答をしました。

そもそもなぜ米軍基地からなのか。米兵が海外から在日米軍基地に入る場合、「日米地位協定9条」で検疫法などの国内法が適用されず、自由に出入国出来るのです。昨年9月以降、米軍がPCR検査をしていないことを政府は知らず、「水際対策で万全を期す」と言いながら、「大穴」が開いていたのです。しかし、この原因となっている日米地位協定が国民的議論になっていません。まさに「日米同盟の抑止力」優先がマスメディアも含めて浸透しているためでしょうか。

＜「日米地位協定」について2018/2/18、11周年のつどいで、前泊博盛（沖縄国際大学）先生から「憲法と日米地位協定～沖縄から日本が見える」の講演をしていただきました＞

日米地位協定とは、1951年に調印されたサンフランシスコ講和条約と同時にアメリカ軍が駐留することになり日米安保条約が調印され、「日米行政協定」が、1960年新安保条約で「日米地位協定」と改称された。それは米軍の法的地位と米軍基地の使用を規定している（全28条）。

主な特徴点は ①基地は国内のどこにでも建設可能。基地の排他的管理権 ②米軍が第一次的裁判権をもつ ③米軍機墜落事故があっても警察の捜査ができない ④基地関係費用は日本負担など不平等な内容となっている。

広辞苑では「主権・・他の意志に支配されない国家統治の権力」「独立国・・外国の権力の下に服さない国家」となっています。私達は外国軍隊により主権と人権が侵されている日本の現状をもっと広く知らせ、政府は不平等な協定を改定すべきです。

なお、ソマリア沖のジブチ共和国に自衛隊の海外基地があり、「日本ジブチ地位協定」が日米地位協定以上の不平等協定であることも、日米地位協定の改定に消極的原因の一つとも言われています。

（追記）1月23日投票の名護市長選挙ではオール沖縄の候補は当選できませんでしたが、デニー知事は「辺野古新基地に反対するという方向性は1ミリもぶれることはない」と決意を新たにしています。

（竹の台 島田）

### 2022年度 総会 にご参加下さい

2月20日(日) 14:00~16:00  
西区文化センター 2階 第3会議室

- \* 昨年度の活動を振り返り今年度の活動計画について
- \* 会計報告
- \* 「中村哲さんの遺したもの」DVD視聴します

### 第14回記念のつどいのお知らせ

4月23日(土) 西区文化センター2階  
なでしこホールにて  
13時30分~(開場 13時)

講演 ペシャワール会 藤田千代子さん  
地元演奏家によるトランペット演奏

## Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は3月1日(火) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## 平田オリサの児童劇団を観る

雪深い円山川沿いに建つ江原河畔劇場、平田オリサ作・演出の「15少年・少女漂流記」を観に行った。150人ほどの客席で殆ど若い人たちが満席。

舞台は玄武洞の奥深い洞窟が作られ、15人の子どもたち（中高生たち）は「この洞窟は南米にあるの?」「コウノトリが助けてくれる」など様々な会話を交わしながら洞窟を抜け出そうと相談する。子どもたちにセリフのトチリはなく、高校生たちの独特の会話に意外とリアリティを感じた。1時間ほどの舞台、カーテンコールは3回行われ大きな拍手にわいた。子どもたちはこの拍手に何を感じたのであろうか。ひょっとすればこの拍手に感動して、プロの俳優を目指す子がと、期待しながら手をたたいた。まさに雪深い但馬に暖かい演劇の文化が生まれている。おそらくこうして演劇を通して街づくりが行われていくのだろう。平田オリサ氏の仕事にも拍手を送りたい。

西神中央にこの秋、劇場が誕生する。ぜひ神戸での上演をして多くの子どもたちに観てほしいと思った。

たけし

## ジョー旬

「敵基地」は 米軍だった オミクロン  
(現妻)  
いつもある とは限らない ジェネリック  
(骨歩)

[neginokai9@yahoo.co.jp](mailto:neginokai9@yahoo.co.jp)

に投稿お待ちしております。

1月16日24名の参加で開催しました。講師はミャンマーからの留学生(Aさん)とミャンマーの少数民族の現地支援をされてきた方(Bさん)でした。

ミャンマーはインドシナ半島の西部に位置し、日本の1.8倍の国土に約5千万人が住み7割を占めるビルマ族と多くの少数民族でなりたっており、中国やインド、タイなどと国境を接しています。

2021年2月に国軍によるクーデターが発生し約10年続いた文民政権が倒され、反クーデターの声をあげる民衆への弾圧が繰り返されています。Aさんは祖父母や両親、友人たちが命をかけてクーデターに反対していることを日本の人にも知って欲しいと言います。現在も多くの若者が拘束されたり行方不明になるなど国軍の苛烈な弾圧は全土に拡大しています。

ミャンマーでは長く国軍が政治と経済を支配し、その利権を独占し賄賂がなければ公共部門は動かず、豊かな鉱物資源や電力も中国などに供給されるなど国民の民生向上につながらず世界で最も所得格差の大きい国となってきたのです。

日本は国軍への支援となるODAなどの援助資金を止め国民統一政府の支持を表明して欲しいと訴えます。

Bさんは、少数民族の村で活動した経験をもとに貧しいながらも自然と向き合い自然に生かされているとする生活に教えられる事が多いと言います。国の枠組みのみで見るのではなく現地で暮らす一人ひとりの在りようにも目を向けることの大切さを強調します。また一方で国軍の弾圧が少数民族に分断と内戦をもたらしていることに深い危惧を抱いていると言います。「私がミャンマー人として生まれていたのなら今どうなっているのか」みなさんに考えてもらいたいと。

当日のカンパは約3万円でした。講師の方々にお渡しいたしました。ご協力ありがとうございます。

文責・春日台 Y.O

2022年2月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

西神ニュータウン9条の会 第14回記念のつどい

**講演 藤田千代子さん** ~中村哲医師を支えて30年  
ペシャワール会看護師~



4月23日(土)西区文化センターにおいてペシャワール会藤田千代子さんの講演会を開催いたします。講師の藤田さんは看護師で、2019年にアフガニスタンで凶弾に倒れた中村医師とともに約30年医療支援活動にあたってきました。イスラム文化圏の現地ではとりわけ女性患者への医療には大きな壁もあり、藤田さんは中村医師の片腕として診療活動に従事し現地の医療スタッフの育成にも尽力されてきました。

ペシャワール会は1983年にパキスタンのペシャワールなどへの医療支援団体NGOとして福岡で設立されました。中村さんがこの活動に取り組んだきっかけは、福岡の山岳会に随行医師として現地を訪問した折、結核患者やハンセン病患者が見捨てられている現状を目の当たりにし、「命の不平等」を実感したからだと後に述べています。現地での医療活動は「誰も行かない所だからこそ我々は必要とされている」として辺境地や山岳地を巡回し、ソ連の「アフガン侵攻」後はアフガニスタンにも医療活動を拡大してきました。しかし現地の疫病の背景には約30年に亘る大国の軍事侵攻や国内部族の内戦などによる国土の破壊、大規模な難民の発生、早魃による耕作地の土漠化、水不足など深刻な環境破壊が進行していたのです。

医療だけでは人の命は救えないとして1600本の井戸を掘り、延べ25kmの用水路を建設し、命とくらしの基盤づくりに乗り出したのです。現地の石積技術も生かした用水路は3000ヘクタールの農地を回復させ65万人の生活を支える緑の沃野になっています。だがアフガニスタン全土ではその後も温暖化による早魃が頻発し2018年には国民の半数(1500万人)が飢餓状態に陥いる危機が発生しました。中村さんは「産業革命や機械文明の恩恵を享受することのなかった最貧国が温暖化の深刻な被害を最も受けている」として世界へ人道支援を呼びかけたのです。

遠く離れた土地で飢餓や病気や戦争や早魃などで苦しむ一人一人に人道支援を行うことは私たちに何を語っているのでしょうか。身勝手な大国の利害を超えて人々の平和な営みを取り戻すには何が必要なのでしょう。中村哲さんはその著書で「全ゆる人の営みが自然と人、人と人の和解を探る以外われわれは生き延びる道はないであろう。それがまっとうな文明だと信じている」と述べています。

多くの方のご来場を心からお待ちしております。

(春日台 Y.O)

- 3月のつどいはありません
- ペシャワール会写真展のお知らせ  
4月21日(木)~24日(日)  
西区文化センター1階ギャラリーにて
- 14回記念のつどい当日、開演に先立ち中村哲医師とペシャワール会のDVDを上映します。(約30分)

**Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は4月1日(金) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

2月20日

## 2021年度の総会が行われました

## ワクチンの遅れが暗示するもの

今年に入って、オミクロン株の感染拡大が続き、2月初旬には、第5波の4倍もの感染者数を記録しました。ところが、日本はまたしても3回目ワクチンの進捗が先進国で最低です。2/6時点で、英、韓 55%、独 54%、米 27%に対して、日本はワクチンが頼りの感染拡大局面でわずか6%。第6波には間に合わなかったということです。波が数か月毎に繰返すのは分かっているのに、第5波以降4か月間、何をしていた？ 国会の議論でも「全体像を見極めていた」とか、「早急に大規模接種を！」とか、曖昧な問答の繰返し。

これは追及する野党側にも言えることですが、コロナ禍に限らず、経済政策や格差是正でも、言葉の空中戦では禅問答でかわされます。パネルを用いた統計データによる specific (定量的) な追及で、政府に commit (約束) させないと、action plan (行動計画) を国民に示せません。岸田首相は「何をぐずぐずしている」、「さっさとせんかい！」と怒り、本気度を一部メディアは賞賛しましたが、相変わらずの精神主義・・・システム障害を繰返すみずほ銀行の経営幹部も同様ですが、リーダーが曖昧な言動を繰返しては、哀しいけど日本はどんどん「衰退途上国」になり下がっていくでしょう。

(竹の台 西元)

コロナ禍での総会となりましたが、18名の出席がありました。2021年度をふりかえり、コロナ禍でも、地道に活動を続けたこと。

ホームページについては、手作りの味は、引き継ぎながら世代交代をしたこと。

戦争体験集を発行し、貴重な体験を聞く会を開催したことなどが報告されました。

改憲がいよいよ危ういという状況の中、これからの活動について、様々な意見がでました。

- ・もっと会員を増やすように工夫した方が良いのではないかと。会費収入が少ないことに驚いた。
- ・9条だけではなく、緊急事態条項の創設が危ない。政治家に任せられない。市民が立ち上がらないといけないと思う。

- ・緊急事態条項についての資料がほしい、わかりやすく書いたもので。

- ・市民へのアピールは難しい。日本人は憲法に無関心だ。これは、改憲派の人でも話していることだ。もっと、様々な角度からの分析が必要ではないか。など、他にも貴重な意見がでていました。今後の活動に活かしていきます。

総会后、ペシャワール会の藤田千代子さんが登場するDVDを視聴しました。アフガニスタンでの故中村哲さんの活動を観て、その命を大事にする信念に心を揺さぶられました。(K)

## ジョー旬

故郷(ふるさと)の「私は貝になりたい」  
(産地偽装)

シャッターを 開けて春待つ 耕運機  
(骨歩)

**neginokai9@yahoo.co.jp**  
に投稿お待ちしております。

HP 更新しました。  
西神の野鳥、おしゃべりコーナー  
も是非ご覧くださいね！



2022年3月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

## 無謀な侵略戦争を止めさせ平和の用水路・井戸を日本の隅々に掘ろう

ロシアの詩人エフトゥシェンコの詩「バビ・ヤール」の一節が新聞に載っていた。

わたしは—ここで銃殺された老人のひとりひとり

わたしは—ここで銃殺された赤児のひとりひとり

わたしの体内のなにものもこれを絶対に忘れはすまい

「ウクライナの溪谷の名前で、かつてナチス・ドイツによる大虐殺が行われた地。ショスタコービッチの交響曲にもなった。人類が過ちを繰り返さないと誓った場所。ロシア軍がミサイルを撃ち込んだテレビ塔はその跡地に立ち、隣接の公園には追悼碑が置かれている。」

「特別な祈りの場所。あなた方はホロコーストの犠牲者を2度殺した」とウクライナのゼレンスキー大統領はロシアを批判した。ロシアのそうした場所（テレビ塔跡）を攻撃したのをはじめウクライナ侵略の最大の理由は、ウクライナの「ネオナチ化」を挙げている。ロシアのプーチン大統領には歴史や文明から学ぶといった科学性・人間性は全くみられない。NATOの東方拡大やロシアの未承認国戦略という軍事的な対立があるにせよ、今もなお、ウクライナで学校、病院、劇場、原発が攻撃され、子供の命や市民の生活を奪う無差別攻撃は続いている。しかし、この間、かつてないほど早く日本をはじめ世界の各地で、人々の“戦争反対”の声があがっている。おそらく世界の人々にとって、この21世紀や未来にはこんなにも無謀な「命の不平等」を許してはならないという優れた平和への渴望であろう。にもかかわらず、日本ではこの無謀な市民殺傷の戦争を利用して「軍事的抑止力」としての核共有や憲法改正の動きが起こってきている。それは「力には力」－「軍事には軍事」というロシアの無謀な侵略となんら変わる事のない軍拡思想だ。

## —私たちは、今何を？ 中村哲さんの意思（藤田千代子さんのお話）を聞きませんか—

廣瀬陽子慶応大学教授は「今のウクライナはかつてのアフガニスタンのようになっている。アフガンのソ連侵略によって米ソの代理戦争のようになっていたが、今はロシアと欧米の代理戦争をウクライナでやっているように見える」と言っている。1980年、アフガンのケララ村で二日間で1500人がソ連軍によって銃弾をあびせられた。こうして殺したものと殺されたもの—地獄を見た厳しい現実から中村医師は「希望として分かち合う事業＝山村無医地区医療・農業・灌漑用水路を黙々と進め」ていった。中村医師は生前、「アフガニスタンの復興はアフガニスタン人の力で、人々が望む支援、彼らの生活・振興・文化の尊重が前提である」と言い続けてきた。そして「真の人類共通の文化遺産は、平和と総合扶助の精神である」「内外で暗い争いが頻発する今こそ、この灯りを絶やしてはならぬ」と遺した。

私たちは、この21世紀は「力には力」－「軍事には軍事」ではなく「人類共通の遺産」としての平和憲法・憲法9条を中村医師が築いた用水路や井戸のように日本中に掘りめぐらしていきましょう。（竹の台 たけし）

● 4月23日(土)第14回記念のつどい 開演 13:30 13:00 から DVD 上映します

「ベシャワール会写真展」もぜひご覧ください 4月21日(木)～24日(日)

西区文化センター1階 ギャラリーにて 各日とも 10:00～16:00

● 5月3日 憲法集会 神戸みなとのもり公園 ※詳細はチラシをご覧ください

● 5月15日(日) 5月のつどい 「参院選目前、どうなる9条」(仮題)

西区文化センター2階第3会議室 14:00～16:00 参加費 300円



## Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は5月1日(日) 16:00～17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## 7月の参議院選挙への思い

ロシアによるウクライナ侵略で、多くの子どもを含む一般市民の犠牲者がでています。皆さんも日々の報道を見て、いたたまれない気持ちになっておられることでしょうか。更に、プーチンは核兵器の使用も辞さない姿勢も示していて、国際世論の強い反発が広がり、ロシアは全く孤立しています。しかし、日本では安倍元総理や維新の会などから、「核兵器の共有」を考えるべきだと、この惨禍をチャンスとしてこれまでの非核3原則も見直し、9条改憲へと進ませようという動きも出ています。

このような状況で7月に予定されている参議院選挙は、9条の会にとってとても大切な選挙になると思われます。昨年の総選挙で、自公・維新など改憲勢力が衆議院では憲法改定の発議に必要な2/3以上の議席を占めてしまいました。今度の選挙で参議院でも2/3以上をとられてしまうと、これから3年間は数字の上では改憲の発議をいつでも行えるということになってしまいます。

ウクライナで起こっていることは、抑止力を含む軍事力を用いて国際紛争を解決する道が、いかに多くの犠牲を伴うものかを改めて示しています。我が国の進むべき道は、9条に自衛隊を書き込み普通の国になってしまうのではなく、9条を生かして軍事力に頼らない外交で世界へ貢献する国となることではないでしょうか。そのために今度の参議院選挙を広範な市民の声と野党との連合でなんとか憲法を守る勢力を伸ばさなくてははいけないと思います。

(樫野台 K H)

HP 更新しました。  
おしゃべりコーナーで、映画「発酵する民」(4月2日(土)~8日(金)18:10~元町映画館で上映)を紹介しています。是非ご覧ください。



## 「いちの日行動」 ~3月の風景~

3月の行動でうれしいことがいくつもありました。宣伝を始めた直後に中村哲さんを敬愛する稲美町の男性がいいところに来た!とつどいのチケットを予約してくれ、北区の青年も予約してくれました。

西神南のOさん、美賀多台のTさんは誰もが認める署名集め名人。Oさんは「2人の青年が訴える私の目をじっと見て、頷き、話してくれたりと対応しながら涙が出そうになりました。いつも行きかう人たちから力をもらいます」と。

Kさんはチラシを取り損ねた人に全速力で走って手渡します。マイクで訴えたNさんはウクライナへの思いからいつもより興奮気味。スピーチの内容を一部紹介します。

『21世紀の今の時代に、「言うことを聞かせるために戦争を仕掛ける」、とんでもない時代錯誤ですが、なんと「核戦力」をちらつかせる、プーチン大統領はマジおぞましいですね。ロシアの友人からも「ロシア人であることがただただ恥ずかしい」とメッセージをもらいました。一方、日本では安倍元首相が「日本も核戦力を共有する議論を始めたい」と発言、待ち構えていたかのように、維新の松井代表も「非核三原則は昭和の時代遅れの価値観」としっぽを振りました。大阪にカジノと核弾頭を持つてくるつもりなのでしょうか?唯一の被爆国・日本が戦後77年、大切に守ってきたものをどさくさに紛れてかなぐり捨てようとする、まさにプーチンと同じおぞましい連中が日本にもいたことを思い知り、「僕も日本人あることがただただ恥ずかしくなりました!』

「継続は力なり」を胸に刻んで来月もこれからも行動します。  
(竹の台 T)

## ジョー旬

銃口は 後ろに向けよ ポチヨムキン (現妻)  
糸電話 届く距離でも する LINE (骨歩)  
**neginokai9@yahoo.co.jp**  
に投稿お待ちしております。

2022年4月発行: 西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク



May2022

# つなかり 西神ニュータウン9条の会

No.293

西神ニュータウン9条の会「第14回記念のつどい」

## ペシャワール会藤田千代子さんの講演を聴いて



4月23日「第14回記念のつどい」が開催されました。参加者263名、4日間実施したペシャワール会写真展も約100名の見学者がありました。

オープニングはトランペットの笹倉美生さんとシャンソンの神澤のり子さん。生演奏と明るい歌声に身も心も癒される思いでした。

講演はペシャワール会藤田千代子さん。故中村哲医師と共にパキスタンやアフガニスタンで医療支援や灌漑施設の建設など30有余年の長きに亘り人道支援を続けています。とりわけアフガニスタンは約40年間ソ連の軍事侵攻、アメリカの軍事介入、内戦などで多くの住民の命と暮らしが破壊され、更に現在も早魘による深刻な被害を受け国民の約4割が飢餓線上に曝されています。

藤田さんは、中村医師たちの活動を振り返りながら語ります。「医療の支援で始まったが医療だけでは人を救えない。消化器疾患の多い住民のため1600本の井戸を掘り、飢えないために灌漑水路を拓き農地の回復を実現し65万人の暮らしを支えてきました」「アフガニスタンの困難な状況の背後には、戦乱による疲弊と温暖化による早魘が同時に進行している現実を見逃すことは出来ません」「爆弾や武器で人々のくらしは作れない」「昨年のタリバン政権成立後、欧米を中心とした経済・金融制裁が実施されているが最も苦しんでいるのは難民やその日の食料に困惑している貧しい人たちである」「文化は押し付けるものではない。各々の文化に優劣はない」

藤田さんの講演から見えてくるのは、大国が声高に叫ぶ政治や現象のみを報道するジャーナリズムには、最も苦しんでいる多くの人たちの現実が反映されていないことです。2月に始まったウクライナへのロシアの軍事侵攻は、今も激しさを増し多くの死者を出しています。日本でも「核威嚇」「原発占拠」の状況を利用して「核共有」「敵基地攻撃」を更に進めた「敵国への先制攻撃」までが主張されています。日本が戦前中国や朝鮮などアジア諸国を侵略し、植民地支配で多くの犠牲者を出したことなど全く忘れたかの様です。

今年、日本国憲法は5月3日で施行75年を迎えます。戦争の惨禍の上に平和憲法がつくられ、人びとの命や暮らしが平和に営まれるためにこそ、この憲法が在るのだと改めて強く思うのです。

2001年衆議院での「テロ対策委員会」に参考人として出席した中村哲さんは、アフガニスタンへの自衛隊派遣を「有害無益」だと発言しています。

今回の「記念のつどい」のタイトルは「百万の銃弾より水を」でした。

春日台(Y.O)記

### 14回記念のつどい成功のお礼と報告

記念のつどいには263名参加して下さいました。そして、会場カンパに11万5千円も善意をお寄せ下さいました。翌日ペシャワール会に振り込みました。ありがとうございました。当日青いペンケースの忘れ物がありました。お心当たりの方はご連絡を。

### 5月15日(日) 5月のつどい

西区文化センター2階第3会議室 14:00~  
※詳しくはチラシをご覧ください。

### 6月12日(日) 6月のつどい(内容は未定)

西区文化センター2階第3会議室 14:00~

★ミャンマー写真展 6月9日(木)~12日(日)

## Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は6月1日(水) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## 藤田千代子さんの講演

乾ききってひび割れた大地、干上がった川、疲れ切った人々。スライドが映すアフガニスタン。そして一転して緑豊かな田畑とそこを縫って豊かに水を湛えて滔々と流れる川。映像の切り替えと共に迫り上がる歓喜が抑えきれませんでした。この尊い緑は中村先生のワークショップから巣立った現地の人々の植樹と護岸の石積みによってできた川。深く掘られた井戸。戦火の飛び交う大陸ではなく、潤い緑が溢れる大地こそがささやかな幸せを守る糧だと高らかに訴えてくるものでした。藤田千代子さんは、そのほっそりとした姿からは我々の想像もつかない危機にも幾多あった事でしょう。中村先生の志を受け継ぎ現地で医療活動しつつ緑化の重要性を世界に発信していく、銃弾より水をと訴える藤田千代子さんご本人の意志を強く感じました。自分達に与えられた平和な日常をあらためて感謝しつつ、藤田さんの今後ますますのご活躍とペシャワール会のご発展を祈ってやみません。

現地で活動された生の声がきけて良かったです。現地の人々の自立こそ、あるべき支援だと再認識した。

## トランペットとシャンソンの演奏

聴いたことのある曲も多く、久しぶりに生演奏が聞けて良かった。温かい演奏と豊かなお声でのシャンソンに心なみましました。

合唱のとき、大声で歌われる方が多くドキドキした、今は控えるべき。

## その他

ロシアのウクライナ侵攻、毎日毎日うれいています。戦争を経験した私としては日本が平和憲法を持っていて皆さんが9条を守る会をずっと活動してらっしゃる事をうれしく思います。

HP 更新しました。  
是非ご覧ください。



緑が目にも優しさをにじませる季節になってきました。土曜日の藤田千代子さんの中村哲先生のお話、260余名も参加して良かったですね。

その1週間前(4月17日)、「市民と野党の長田共同アクション」主催の「私たちが社会を変えるために－働くものと憲法」のお話を聞きました。法政大学教授の上西先生は、「ごはん論法」、国会中継のパブリックビューイングなど市民にわかりやすく政治の「嘘」を告発してきた先生。130余名を前に、ウクライナ侵攻をめぐる情報戦、とりわけNHKの「衆院憲法“改正”審査会(3月17日放送)」は、国民に“改正”を印象付けるメディアの政府寄りの露骨さや、「憲法と労働基準法に記された国民への“エール”」のお話は、「国民の不断の努力」への私たちへの警鐘として受け取りました。さらに自民党の2012年の憲法改正草案の持つ恐ろしさは、今日、ウクライナにことよせて憲法改正の根拠になっていることを教えてくれました。ぜひ、みんなで自民党の憲法改正草案を勉強したいと思いました。

上西先生の持論「説明や説得の運動の有り様ではない」つまり「言いたいこと言う運動ではなく、聞きたいこと言う」私たちの市民運動への問いかけは、いつまでも検証し続けなければと痛く感じたお話でした。(たけし)

## ジョー 旬

「靖国」に 逝かないように 5月デモ (現妻)  
雨が いい 阪神負けずに 済むならば (骨歩)

[neginokai9@yahoo.co.jp](mailto:neginokai9@yahoo.co.jp)

に投稿お待ちしております。

2022年5月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HP にリンク

西神ニュータウン9条の会「第14回記念のつどい」

## 「100万の銃弾より水を！」講師 藤田千代子さん(アンケート結果より)



たくさんの素晴らしい感想が寄せられましたが、紙面の都合から故中村医師の関係部分を中心に掲載しました。しかも多くの中からの一部掲載、また文面も省略せざるを得なかったことを深くお詫びします。

- 中村先生の口よりも行動すること、人間の素朴な良心を大切にすることの重要性を感じました。(10代 女性)
- アフガニスタンが四十年余り戦争状態であったことは認識していませんでした。(50代 女性)
- 中村先生のような行動はなかなか真似できないですが、何か一步を踏み出したいと思います。(50代 女性)
- 大勢の一般人が難民として苦勞していること、どうして空爆を受けなければならないのか、国際社会の制裁でどういった影響があるのか、今ウクライナの映像を見ているが、何のために戦争をしているんだろう…など考えています(60代 女性)
- 資金を送るだけでなく、現地の人々の自立こそを目標にされたのは支援の在り方を再認識した。タリバン=非道の印象は現地の様子を聞き、少し変わった。(60代 女性)
- 戦乱が続いている中での民衆とのつながりが本当に連帯を作りだしていると感銘を受けた。(70代 男性)
- 「自衛隊派遣は有害無益である」という中村哲さんの言葉。9条の会が藤田さんの講演会を企画されたのは素晴らしい。(70代 男性)
- おりしも、ウクライナ侵略戦争の残酷なニュースに、どうすれば平和のうちに手を取り合って生きて行けるかの道を指示して下さったように思います。(70代 女性)
- 荒廃した土地に緑がよみがえった時、先生たちの努力と強い意志、人々を助けることの本当の姿を見せていただきました。平和すぎることで今の日本は何か大切なものを見失っているのでは?と思います。(70代 女性)
- 現地の人と事業を継続できたのは、人間としても信頼を築けた証だと感じた。国や民族を越えて、生存するために必死な動機は世界共通ですね。(70代 男性)
- ロシアのウクライナへの戦争、毎日憂えています。戦争を経験した私として、日本が平和憲法を持っていて、皆さんが9条の会で活動されていることをうれしく思います。(80代 女性)
- 日本でニュースなどで聞かされることと現地での活動の話聞くのは大きな違いを感じた。特に、タリバンについては、新しい認識をした。(70代)
- 感動で涙一杯!もっと伝えてほしいです。特に若い人に!(70代 男性)

### ミャンマー写真展を開催します

2015年総選挙で勝利し民主政府成立。2020年総選挙でも圧勝。2021年2月1日国軍によるクーデター発生。大多数の国民は民主主義を求めて立ち上がり、今もたたかいは続く。ミャンマー支援の写真展に是非いらして下さい。

6月9日(木)~12日(日)

西区文化センター一階ギャラリーにて  
(文化センター会館中はいつでもご覧になれます)

6月12日(日) 6月のつどい  
西区文化センター2階第3会議室  
14:00~16:00 参加費 300円  
※詳しくはチラシをご覧ください。

8月28日(日) 8月のつどい  
西区文化センター2階第3会議室  
14:00~16:00 参加費 300円

「憲法9条をノーベル平和賞に」  
岩井義雄牧師に聞く

### Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動が続いています。

★次回は7月1日(金) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## 憲法の精神はシンプルに「殺すな！」

## 5月のつどい「憲法9条で平和は守れるか？」

5月3日の憲法集会。昨今のウクライナ侵攻を目の当たりにし、「8000km離れた私に何ができるのか」を考えていた時だった。今まで中立を保ってきた北欧2国の NATO 加盟の動きや、日本国憲法の改憲論調の高まりも気になっていた。

メインスピーカーのジャーナリスト金平茂紀氏は今回のロシア侵攻開始翌日に現地入りし、これから国のために戦う男たちと涙の別れを告げ、必死の思いで逃げてきた人々を目の当たりにした。その目撃者の一人として「今あらためて憲法の重要さを痛感する」と訴える。大戦中普通の青年たちが徴兵され、敵を殺し自分は死ぬまで戦うことを強いられた。「このような殺し合いをしないために憲法は作られたのではないのか」「同じことが繰り返されている今だからこそこの憲法を守りたい」と。

彼の話聞き、最近の主流の焦点がいかに戦争を「起こさせないか」ではなく「起こったらどうするか」に移されていると感じた。この混乱時に世界がそこに集中していく中で国による暴力は「必要悪」として更に肯定化されていくだろう。金平氏は憲法の精神はシンプルに「殺すな！」だと言う。「(国はいかなる民も)殺すな！」と主張する憲法を守ることは、離れて住む私が世界の振り子を振り戻させるためにもできることだと感じた集会だった。(信ちゃんママ)

5月のつどいには、25名もの参加があり、八木弁護士のお話にもみなさん、聞き入っていました。

私の印象に強く残ったのは、憲法が公布されたあとに、1950年警察予備隊ができ、1952年講和条約、日米安保条約。1954年には自衛隊が創設されている。結局、一度も独立国として、憲法9条を実践できないまま現体制が始まっているという話でした。75年間、9条のおかげで戦争は起きていません。国民の中に、9条はどう根付いたのか。そこも知りたいと思いました。

しかし、自民党政権は、憲法9条のもとで、解釈をつけて、あるいは、変更して、集団的自衛権行使できる安保法制を2015年成立させました。そして、今、ロシアの侵略戦争での危機感が広がる中、日本も敵基地攻撃できる国にしようとしています。

### ※憲法9条で平和は守れるのか? という問い (当日資料より)

- ① まず日本人は憲法9条(非武装・中立)で国を守ると決断した
- ② それを対外的にも表明し、
- ③ かつ平和維持のための活動(国際機関、NGO活動)に積極的に参加することで日本を守れるか・・・その前提として戦後補償問題を解決すれば、近隣国との関係は、大きく変化することは、間違いなく、武力によらない安全保障の環境の構築も夢物語ではなくなる。そして、日米安保条約が、近隣国との緊張を高めているという話もありました。

いろいろな角度から考えていかなければならないということを学びました。(K)

## ジョー 旬

少数派 古紙に新聞 出す家は (現妻)  
値上がりの パンにバターを 薄くぬり (骨歩)  
**neginokai9@yahoo.co.jp**  
に投稿お待ちしております。

HP 更新しました。  
是非ご覧ください。



2022年6月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

## もし、九条が なかったら

憲法は権力者の暴走を縛るものです。もし不備があれば国民の側から改憲を求めるのが筋です。しかし、おかしなことに権力者が改憲に血まなこになっています。なぜ今、憲法を急いで変えなければならないのでしょうか。

国民は日々の生活や医療、福祉、景気にもっとしっかり取り組んで欲しい、というのが最優先の課題であって、けっして何がなんでも憲法を改正するを願っているものではありません。

戦後 70 余年、基本的人権と平和主義を柱にした憲法は、いろんな試行錯誤はありましたがこの国の平和の背骨になってきました。

想像して下さい。もし、日本に戦争の放棄をうたった 9 条がない憲法が施行されていたら、どうなっていたか。

悲惨な戦争体験を経たにもかかわらず、多分日本はこりずに富国強兵、軍事大国の道をひた走っていたに違いありません。アメリカに強要されて多国籍軍に参加して、戦闘要員として朝鮮戦争はじめ、イラクやアフガニスタンなどへ狩りだされ多くの犠牲者をだしていたことと思います。武器に関する三原則も野ばなしでしょう。新憲法に、戦争と武力による威嚇、行使を永久に放棄し、そのための陸海空軍その他の戦力を保持せず、国の交戦権は認めないという 9 条が書き込まれたことは実に画期的なことでした。

この 9 条があったために、アメリカの要請やさまざまな臭いことの歯止めになってきたのです。小泉政権がイラクに自衛隊を派遣したものの、前線に出て戦闘せず、後方支援に厳しく限定されたのも、9 条があったからこそでした。

今、改憲を目指す右派勢力は自衛隊を明記することと緊急事態にしぼっての議論を、と国民が受け入れやすそうなところからと装っていますが、ほんとの狙い、本音は次の段階で 9 条を抹殺することです。アメリカと一体になるため 9 条が邪魔なのです。

憲法9条は日本の宝です。限りなく右傾化していく日本、9条は最後の砦です。

狩場台 山口洋司

## おしらせ

7月10日  
参議院選挙

みんなで  
平和の虹を  
かけたいな

8月28日(日) 8月のつどい

西区文化センター2階第3会議室  
14:00~16:00 参加費 300円  
「憲法9条をノーベル平和賞に」  
岩村義雄牧師にお話を聞く

※ 7月のつどいはありません

9月18日(日) 9月のつどい

西区文化センター2階第3会議室  
14:00~16:00 参加費 300円  
内容は未定です



**Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

次回は 8月1日(月) 16:00~17:00★(コロナの感染状況で変更もあります)

## 「百田尚樹現象」の正体

私は百田尚樹が嫌いです。

明らかな嘘を言い、人を侮辱することも平気な差別主義者だと思います。しかし彼の本の多くはベストセラーになっています。

代表作である『永遠の0』は小説も映画も大ヒットしました。九条の会に参加している人でも感動し「反戦映画」と評価しています。

私はこの小説を読み、映画も2回見ました。「うさんくさい」という印象ではなく、映画の構造と表現に沿って、アジア太平洋戦争を肯定していると批判しました。

また彼は、私も一時期よく見ていた『探偵ナイトスクープ』の中心的な構成作家です。視聴者参加の面白い番組で、右翼的な要素はあまり感じませんでした。

なぜ百田尚樹は読まれるのか、誰が読んでいるのかを知りたくて『ルポ百田尚樹現象／石戸諭』を読みました。

石戸さんは本人にしっかりと取材し、彼の同志で、つながりの深い藤岡信勝(自由史観研究会)西尾幹二(ドイツ文学者)小林よしのり(漫画家)の意見も聞いています。

そこに浮かぶのは、関係者に取材もせず、学問的事実等にも拘らず、確たる思想も持たず、それでいて多数に受ける要素を探り当て書くことが出来る能力を持った男です。

百田尚樹は「普通の人々」の喜びそうなテーマと表現方法を見抜く力を持っているということです。

右翼的なのは、その反映です。 (Q)



HP 更新しました。  
是非ご覧ください。

## 6月のつどい報告 「私にとっての憲法」

「ざっくばらんにお話ししましょう」ということで、3人の方から「私と憲法」というテーマで話がありました。憲法記念日の世論調査の結果も紹介され、それらをもとにして、16名の参加者が皆さん、憲法に対するそれぞれの思いを語られました。

ロシアのウクライナ侵略による国民の不安の高まりは、「1の日宣伝」の経験からリアルな様子も報告されましたが、これまでの日本の平和に対する憲法9条の積極的な役割に対する信頼は非常に高いというデータも示されました。国民の不安は「日本が攻撃されたら・・・」という点にあります。攻撃されないための外交をどのようにすすめるか、説得力を持って説明することの必要性は皆さん共通の思いでした。

軍事費の倍増や憲法改悪の動きが、過去、日本の侵略によって多くの犠牲者を出した近隣諸国からどのように見られるか、日本の安全を守る外交にとって決してプラスにはならないという意見も出されました。国際的な外交力・信頼力を得る上での憲法9条の大切さを再認識しました。

皆さんの話に一つ一つにうなずいてお聞きしてしまい、司会としてまとまらなかったような気がします。が、「ざっくばらん」ということでお許しいただければと思います。 (榎野台 KH)

## ジョー 句

九条の 旗を掲げた 炎天下 (伝)  
ズンズンと 右へ右へと 曲がり角 (現妻)

[neginokai9@yahoo.co.jp](mailto:neginokai9@yahoo.co.jp)  
に投稿お待ちしております。

2022年7月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HP にリンク

## 参議院選挙を終えて

参議院選挙が過ぎて8月になりました。

残念ながら、憲法9条を守ろうとする政党は伸び悩み、改憲派が参院の3分の2を超える勢力になっ

てしまいました。衆院の解散がない限り今後3年間は選挙がなく、改憲派は改憲の発議と国民投票が行われる危険性が出てきています。私たちは、国民の平和や幸せを守っていくためにどのような運動や組織であればいいのかを真剣に考え、その危険性に向き合わなければと思います。

選挙戦のさなか、私は宮本研作「美しきものの伝説」という芝居を、六本木俳優座劇場で観てきました。名戯曲、名作の舞台上で堺利彦、大杉栄、伊藤野枝、島村抱月、松井須磨子、小山内薫たちが大正の時代に「見果てぬ夢」—民衆、革命、新劇などを追いかけて、先駆けて生きていく物語です。私にとって50年ぶりの再会の舞台は、なぜかクロポトキン—大杉栄の言葉がビンビンと胸に響いてきました。特に「だれも何もしてくれなくても、民衆は動きます。というより、だれも何もしてくれない場合にのみ、民衆は自分で動きます。つい去年、米騒動でそれを見たではありませんか。」私には2014年の原発反対の17万人集会を思い出します。私たち市民運動(平和・婦人・医療・文化等々)は、「身内中心」の自らの運動を真摯に見直し、法政大学の上西充子先生の「言う運動より、聞く運動を…説得や説明は知らない」の目線で検証していきませんか。そして、本当に圧倒的に草の根の市民と結びついて、憲法9条改悪を食い止めていきましょう。

最後に、舞台の感動的なラストを紹介します。舞台中央に大杉栄や伊藤野枝たち出演者全員が現れて鎮魂歌を歌います。「花咲かそ 花咲かそ 死ぬほど生きた人たちのために…花は咲いたか 花は咲いたか…花咲かそ 花咲かそ 未来を生きる人たちのために 花は咲いたか 花は咲いたか 花は咲いたか」

私たちも 未来を生きる人たちのために 平和の花を咲かそう。

(たけし)

### 8月のつどい

8月28日(日) 14:00~16:00

西区文化センター2階第3会議室



「憲法9条こそ人類の宝  
~ノーベル平和賞の価値~」

<講師> 岩村義雄牧師

※詳しくはチラシをご覧ください

### 9月のつどい

9月18日(日) 14:00~16:00

西区文化センター2階第3会議室



<お話> 西谷文和さん

アフガン、ウクライナから維新  
まで幅広いお話を聞きましょう!

**Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は **9月1日(木) 16:00~17:00** (コロナの感染状況で変更もあります)

## 公明党に想うこと

参院選直前、東大阪の実家のご近所の方がはるばる西神まで「公明党を宜しく！」と応援に見えた。その熱心さには敬服するが、戴いたパンプの姜尚中・東大名誉教授と山口委員長の対談が印象に残った。自公政権発足から20年、公明党がいなかったら、医療や福祉、軽減税率も前進しなかったし、「何よりも安民法制を巡って、今のようない抑制的な内容になっていなかったでしょう」という姜教授の控えめな言葉に重みを感じた。

選挙では長期低落傾向の自民党の集票マシンの役割を担い、政権与党の立場から「改憲勢力」にもカウントされる公明党。しかし、原点に「大衆と歩む平和主義」があり、支持者にも平和マインドがある限り、上層部が政権に抱き込まれても、そう安々と改憲の動きに追従しないだろうと期待したい。

今回の参院選でいわゆる「改憲勢力」が2/3を越え、僕たちの運動は厳しい現実と直面しているのは事実だ。しかし、物価高や雇用、コロナなど差し迫った生活課題山積の中、現状でも自衛隊は存在し、機能しているのに、あえて優先度の低い9条改憲に何百億もかける意味がどれほどあるのか、公明党支持者は元より、国民は気付きかけている。政権も独自世論調査で注視しているはず。僕たちの運動も、ここからが正念場。政権にゴリ押しをしてまで国民を分断するリスクを犯したくないとビビらせられるよう、世論の醸成に努めていきたい。  
(タイガー)



## リアルな近未来「PLAN75」

参議院選挙投票日の翌日、午前3時までの開票立会人の任務を終え、これは寝てしまいかもしれないと不安でしたが、キノシネマ(三宮のもと国際松竹)へ行き「PLAN75」を観てきました。

くわしく紹介できませんが、75歳以上が自ら生死を選択できる制度が「PLAN75」。夫と死別し、一人で暮らす78歳の角谷ミチ(80歳の倍賞千恵子)は「PLAN75」を申請。その彼女を中心に申請窓口で働く人、コールセンターでサポートをおこなうスタッフの苦悩が描かれる。

迫りくる超高齢化社会。特に「おひとりさま」は、急に倒れたりしたら誰にも看取られず他界することも。そんな不安と、日本独特の「他人様に迷惑をかけちゃいけない」といった倫理観が、「死」を選択することを容易にする。もっと年金や高齢者の働く環境、居住空間が充実すれば、このようなネガティブな選択をしなくてもよいはずだ。高齢者(そう、あなたも)の未来を真剣に考えなくてはならない。一見の価値ある映画だった。(タマちゃん)

## ジョー句

抜け道が あちこちにある 政府案 (田)  
村度で ならした道は 冥土まで (伝)

[y-onishi@live.jp](mailto:y-onishi@live.jp)

に投稿お待ちしております。



HP 更新しました。  
是非ご覧ください。  
新設の「ジョー句・ねぎの会」で  
猛暑を笑い飛ばしましょう！

2022年8月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク



## 安倍元総理の国葬に反対する

安倍元総理大臣の銃撃から一月半、理由に関わらず人の命を奪う行為は許されないが、予想していなかったような問題を引き起こしている。

まず、政治家(8割は自民党といわれる)と旧統一協会(現在の世界平和統一家庭連合、以下「協会」と略する)の密接な関係が明らかになってきた。「協会」は、信者の恐怖心を煽って印鑑や壺を法外な値段で買わせるいわゆる靈感商法で、破産したり家族崩壊するケースが社会問題化したこと、1968年に国際勝共連合を作り反共産主義のさまざまな謀略的な活動をおこなってきたことなどで知られていた。メディアが報道してこなかったために近年表だった問題になってこなかったが、依然として靈感商法による多くの被害者が生まれている。全国靈感商法対策弁護団に寄せられた相談は1987年～2021年で28236件、1181億円とされ、これは氷山の一角だという。安倍元総理を含む自民党などの議員が「協会」関連組織の行うイベントに参加したりすることで、結果として靈感商法にお墨付きを与えてきたとも考えられる。一方の政治家の側は、選挙運動を担わせるなど、持ちつ持たれつの関係が明らかになってきている。2015年に「協会」は悪名の知れ渡ったその名称変更を行ったが、この変更にも自民党の文部科学大臣が関与しているのではないかとされている。また、9条の会との関係が大いにあるのは、国際勝共連合の改憲案は、「緊急事態条項の新設」「家族保護の文言の追加」「自衛隊の明記」など自民党の改憲案と瓜二つで、憲法改悪でも共同歩調をとっている。

第2の問題は、安倍元総理の葬儀を国葬とすることである。反対の声は日増しに高まっていて最近の世論調査では反対が賛成を上回っている。明治憲法下で天皇の「思し召し」による国葬の実施を定めた国葬令は、現憲法の平等主義や基本的人権の保障に反するとして1947年に失効している。「国葬」には法的根拠はなく、国会審議も経ずに閣議決定で行い、巨額の国費を使うことは許されない。安保法制、共謀罪法など憲法や民主主義を無視してきた安倍政治を「賛美」し、弔意の強制にもなる。

旧統一協会とも関係の深かった元総理の葬儀を国葬とすることは認められない。

(櫻野台 K H)



「安倍元首相の国葬に反対する市民デモ」  
(8月27日 東遊園地)に400名参加



西谷さん

## ◆ 9月のつどい

9月18日(日) 14:00~16:00

西区文化センター2階 第2・3会議室

「フリージャーナリスト西谷文和さんに聞く」

参加費 300円 ※詳しくはチラシをご覧ください

## ◆ 10月のつどい

10月16日(日) 14:00~16:00

## ◆ 11月のつどい

11月20日(日) 14:00~16:00

※いずれも西区文化センター2階第3会議室  
参加費 300円 (内容は未定です)

**Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は **10月1日(土) 16:00~17:00** (コロナの感染状況で変更もあります)

平田オリザ演出

ファンタジックな  
「銀河鉄道の夜」を観る

猛暑の7月30日、宮沢賢治作、平田オリザ脚色・演出の「銀河鉄道の夜」を観に行った。江原河畔劇場のロビーの窓からは円山川の流れがすぐそこに見える。客席は100名ほどでコロナ禍で40名ほどの客席に縮小していて、子供たちを含めて若い人たちで満たされている。舞台奥に、大きなホリゾント(斜幕)に大きな銀河が映し出され、様々な星座が現れる。役者は6人すべて女性で、そのうち二人がジョバンニとカンパネルラを演じて“本当の幸せ”を求めて様々な星座を旅する。ファンタジックな空間を明るく楽しく旅する二人、ラストは人間の絆や連帯感の暖かい世界が私たちを包んでくれる。子供も大人も嬉しくなる舞台であった。

\*9月15日(木)~25日(日)「豊岡演劇祭2022」が行われる。平田オリザの青年団や劇団あはひ、山海塾など多くの小劇場集団が豊岡、香住、養父市、城崎温泉などで上演します。平田オリザの「銀河鉄道の夜」(9/25香住中央公民館)「日本文学盛衰史」(9/24、25豊岡市民会館)が上演されます。

車で2時間ほど、観に行きませんか。

(たけし)

## ジョー 旬

審議ナシ 国会閉じて ごまかした (田)  
熱帯出 蚊さえへばる 猛暑かな (空耳)  
愛国と 靈感似たり アベ好み (伝)

[y-onishi@live.jp](mailto:y-onishi@live.jp)

に投稿お待ちしております。

8月のつどい報告

## 「憲法9条こそ人類の宝 -ノーベル平和賞-の価値」

8月28日、28名の出席で開催しました。講師は神戸国際キリスト教会の岩村牧師。

「憲法9条をノーベル平和賞に推す会」を主催されています。この会は2014年からノーベル賞委員会へ「9条のノーベル平和賞」授与を働きかけています。

また牧師は神戸国際支援機構にも携わり、内外10拠点で被災孤児、ホームレス、シングルマザー、被災者支援を行っています。キリスト者の家庭に育った牧師は、その後多くの宗教遍歴を重ね平和への思いを強めてきています。

いま話題の統一教会-勝共連合について日本の政治だけでなく米国でも政権に影響を与えていると指摘します。ウクライナ戦争では、2020年のロシア憲法改正でロシア正教が国教となったことで英米・欧州・正教会の3つの対抗軸で動いてると述べます。

9条の平和について、「敵に攻められたらどうするのか」とよく問われます。中国やロシア、北朝鮮が日本を侵略する現実的な可能性は有るのかと答えています。聖書には「剣を取る者はすべて剣で亡ぶ」とあります。

宗教者の平和への強靱な思いを知る機会となりました。

文責(Y.O)

HP更新しました。  
是非ご覧ください。



2022年9月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

## 表現の不自由展 KOBE を観て

9月10日、「表現の不自由展 KOBE」を観に行きました。2015年1月、最初の「表現の不自由展」が、検閲を受け表現の場を奪われた作品を集め実施されました。4年後の2019年に開催された「あいちトリエンナーレ」内での「表現の不自由展・その後」が大きな話題になったのは記憶に新しいところです。この時は「不自由展」自体が表現の場を奪われました。（その後極めて限定的に公開されました。）

今回のコンセプトは<歴史と女性の人権>。チケットは予約制で、厳戒態勢の中、航空機搭乗前と同等のチェックの後、入館しました。観た感想を一言で言うと、「なぜ、この程度の事が制限されるのだろうか？」というものです。

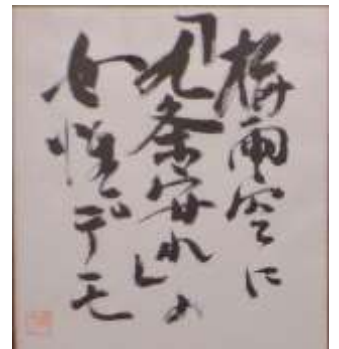
話題となった「平和の少女像」は戦争とそれに伴う性奴隷に抗議する作品の中の一つです。ともにそういうことのない世界を作るようにがんばりましょうと言えば良いことです。また、天皇の写真（正しくは作者が作った作品）を焼くシーンは、戦争の不条理を訴える映像作品のごく一部で、全体の流れの中で論じるべきものです。中でも、最もわかりやすくかつ深刻だと感じたのは次の俳句でした。

梅雨空に「九条守れ」の女性デモ

公民館の俳句サークルで第1位に選ばれ、月報に載せられるはずでしたが公民館に拒否されたものです。理由は「政治的で議論が分かれるので一方の側に立つことはできない」ということでした。憲法は主権者である国民が人権を守るために国家権力を縛るためのものなので、公務員（権力側）には憲法を尊重し擁護する義務があります。ところがその憲法が禁じる検閲を行い、しかもその内容は破壊活動やヘイトといった反社会的なものではなく、憲法を守りましょうということなのです。

このような事が現在日本で起こっていることに恐ろしさを覚えます。（尚、この件は裁判となり、作者の勝訴が確定しました。当然です。）

ところで、某政党の改憲草案では、憲法を権力側ではなく国民を縛るものへ変えようとしています。そうなると言いたいことも言えなくなるでしょう。そのような改憲は決してしてはならないと「不自由展」を観て改めて感じました。（狩場台の亀）



◆10月のつどい 「私と市民運動」  
10月16日（日）14:00~16:00  
西区文化センター2階 第3会議室 参加費 300円  
※詳しくはチラシをご覧ください

◆11月のつどい  
11月20日（日）  
14:00~16:00  
※内容は未定です



◆神戸憲法集会  
11月3日（祝日）伊藤千尋さんの講演  
※詳しくはチラシをご覧ください。  
◆「ウクライナ侵攻から戦争回避を探る」  
11月13日（日）猿田佐世さんの講演  
※詳しくはチラシをご覧ください。  
「ミャンマー関西」が市内ミャンマー人に不要の冬服、寝具の寄付を募っています。ご協力お願いします。回収等については来月号でお知らせします。

**Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は11月1日(火) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

## 沖縄県知事選に想う

9月11日の沖縄知事選は、辺野古米軍新基地に反対する玉城知事が再選を果たしました。自公の候補者が辺野古賛成を公約とする中での選挙となり翁長知事、県民投票に続いて新基地反対の県民の意思が改めて示されました。沖縄県議会補選でもオール沖縄の候補者が当選、議会の過半数を維持しました。選挙期間中には来年度の国の沖縄振興概算要求(内閣府沖縄局)が従来より減額され、自公候補が当選すれば補正予算で上積みするとの露骨な選挙介入が行われました。

今年沖縄は、沖縄戦77年、本土復帰50年を迎えました。復帰運動を支えたエネルギーは、米軍支配から脱し本土と同じ平和憲法下で県民のいのちとくらしを守る強い思いからでした。しかし復帰後も日米安保条約という軍事同盟による基地支配が解消されることはありませんでした。更に今沖縄を含む南西諸島では日米の軍事基地化が進み沖縄が再び戦場になる危険が現実化しています。

1970年本土復帰の2年前、ベトナム戦争の米軍出撃基地であった嘉手納基地のあるコザ市で米軍兵の横暴に抗議して米軍施設や車両が燃やされるコザ騒動が発生しています。沖縄の怒りのマグマは現在も溜まり続けそしてそれは本土の更なる崩壊を示している様に思えてなりません。

選挙後、沖縄の知人からのメールには「知事選勝利で少し元気が出た。でも翌日から辺野古埋め立ては何もなかった様に再開された。私たちは座り込むしかないのだろうか」とあった。(Y・O記)

## ジョー 旬

島守の 塔が見ている 遺骨基地 (伝)  
赤飯を 値引きで買った 敬老日 (骨歩)

[y-onishi@live.jp](mailto:y-onishi@live.jp)

に投稿お待ちしております。

## 9月のつどい報告

### 『アフガン・ウクライナ戦争の背景から 平和と憲法を考える』

世界中で活動するジャーナリストの西谷文和さんを招いて、標記のタイトルでお話を伺いました。いつもの倍の広さの会場で40人の参加です。

映像を使い、世界情勢から国内問題まで、とても分かりやすく、しかも刺激的な内容でした。その一端を、感想を交えて簡単に報告します。

始まりは、西谷さんがアフガンで中村哲さんと知り合った映像です。

2010年に中村さんたちは荒野に水路を建設しました。それが10年後には林と農地に生まれ変わっている大地が映し出されます。中村さんは水を引くことで65万人の命を救い、アフガンに空爆を仕掛けた米国は90万人を殺しました。

最近のタリバン政権下での良い面悪い面の紹介もありました。

ウクライナ戦争では、スターリン時代にさかのぼる両国の関係があること、現在の戦争は1発二千万円の砲弾等、非常に高額の兵器が使われている状況、誰が戦争で儲けているか、マスメディアが触れない問題も明らかにします。

そして人類全体の課題は経済格差の拡大です。最上位わずか10人の資産が下位31億人と同額です。日本では労働者の実質賃金は下がり続け、大企業はコロナ禍でも儲けを増やしています。

最新情勢は旧統一協会と自民党です。安倍元首相が銃撃された大和西大寺駅前、旧統一教会奈良県本部のすぐ近くであることを知りました。さらに安倍元首相の死去で、封印が解かれたごとく、隠されていた闇(五輪汚職など)が明らかになっています。

マスメディアが紹介しない事実を、映像を使って話していただきました。(Q)

(カンパ額は4万円集まりました、  
ご協力ありがとうございました。)



2022年10月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

## 危険な原発再稼働

ロシアのウクライナ侵攻で、原発近くが攻撃され、世界で不安が広がっている。

岸田首相は、7月14日の会見で「最大9基の原発を稼働させる」方針を打ち出した。冬には再度、電力供給がひっ迫することが懸念されるとして、原発の稼働をすすめ、日本の電力不足の約1割を確保することを強調した。また、火力発電の供給能力を追加的に10基分確保することを目指すよう指示したと明らかにした。NHKは、ニュースの時「節電のため明るさを落とし・・・」という字幕をだし、中途半端な演出のように見えた。電力は、本当に足りないのか？

西谷文和さんの路上のラジオに出演の小出裕章さん(元京都大学助教)は「電力は、足りています。2011年原発事故で、すべての原発がとまりましたが、その時火力発電の使用は最高でも70%でした。この夏をのりきったなら、冬は大丈夫。夏がピークです。

今、電力が足りないと言うならば、この10年間、何をしていたのかと言いたい。原発事故をなかったことにして、また、危険な原発を動かそうとしているのです。」と、力説する。

日本では、現在8基が稼働している。最近稼働した美浜原発3号機は、40年を超える原発で、2004年に11人が死傷した事故をおこし、10年停止したのち、再稼働までトラブル続きだった。冬までに全体で10基が稼働予定だ。その上に、9基を追加しようとしている。

そして、8月GX(グリーントランスフォーメーション)の実行会議で首相は、原発の運転期間を40年から60年に延長すること、次世代型原発の開発・新設という原発推進を表明した。国際環境NGOの伊與田昌慶さんは、「気候変動対策として、この10年が決定的に重要であり、『脱化石燃料』をすすめないまま、原子力という誤った解決策を推進する政府の方針は大きな問題があると指摘している。今、必要な対策から目をそらし、脱化石燃料や再生エネルギー転換を先送りしている。今、大事なことは、省エネを徹底し、再エネをすすめることが決定的に重要です」と話す。

福島原発事故から11年。いまだに、8万人の人が故郷に帰れず、福島第一原発の3基の原子炉核納器内にある溶融燃料を取り出せず、大量の放射性廃棄物をどこに持っていくかも決まっていない。また、全国の原発の使用済み核燃料の処分も決まっていない。

原発再稼働を推進しようとする岸田政権。私たちは、福井県の原発の影響をうける地域に住んでいる。地震も多発しており、原発推進の問題は、私たちの命に直結すると思う。(狩場台K子)

- ◆ 11月のつどい「ジェンダーと平和の関係を考える」  
11月20日(日) 14:00~16:00  
西区文化センター2階 第3会議室 参加費 300円  
※詳しくはチラシをご覧ください
- ◆ 総がかり行動憲法集会 講演 柳澤協二氏  
「戦争を回避する日本の戦略」  
11月30日(水) 18:30~中央区文化センター  
※詳しくはチラシをご覧ください
- ◆ 12月のつどいはありません

## 15回記念のつどいのお知らせ

2023年5月20日(土) 13:30 開演

なでしこ芸術文化センター大ホール

劇作家 平田オリザさんの講演

神戸市役所センター合唱団出演



◆ 「ミャンマー関西」への冬服、寝具

(新品、未使用品)の寄付を受付ます。11月中旬まで。連絡先は市原(090-1586-6974)まで。

◆ 2023年9条カレンダー(岩合光昭さんの犬猫写真)の申し込み受け付けます。価格1200円。

ご希望の方は市原(090-1586-6974)まで。

**Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!**

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は12月1日(木) 16:00~17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

台風 14 号をなんとか避けて、神戸演劇鑑賞会の仲間7人で豊岡演劇祭 2022 に行ってきました。

初日マチネは江原河畔劇場で演劇人コンクール「マクベス」、私は隣のワークピア日高で一人芝居「犬が死んだ、僕は父親になることにした、丁重なくらし」、ソワレは豊岡に移動して、芸術文化観光専門職大学でヌトミックの「ぼんやりブルース」、翌日は豊岡市民プラザで市民演劇プロジェクトによる「新・豊岡かよっ!」、そして出石永楽館で早坂彩 SCOT による太宰治作「新・ハムレット」を観てきました。劇場には若者たちがあふれ、芝居を通じて青春を謳歌しているようでした。

初日の湖畔劇場では帰り際に平田オリザさんを見かけました。オリザさんは豊岡芸術文化観光専門職大学の学長さんです。海外では公立の演劇大学は当たり前ですが、日本では初めての演劇が学べる公立大学です。そして今回の演劇祭は大学の学生さん、地域の人々との共同作業です。過疎化する地域において、若者が学び、暮らすことによって街を活性化できるのではないのでしょうか。オリザさんはアジアで有数な世界演劇祭を立ち上げたいとおっしゃっています。

城崎温泉に神鍋高原スキー場、出石の城下町、豊かな自然と文化のなかで日本全国、世界中から集まる若者たちを巻き込むことが出来れば、素晴らしい街になると思います。私たちの過ぎ去った青春を思い起こしながら、今の輝ける赤秋(注)を楽しむことができました！ とても刺激的な観劇旅行でした。

注) 赤秋は仲代達矢さんの今は亡き奥様、宮崎恭子さんの造語です。 東灘9条の会 広沢正雄

## ジョー旬

核の傘 破れ目からは 地獄見え (伝伝)  
木枯らしや はや大根は 湯気の中 (骨歩)

[y-onishi@live.jp](mailto:y-onishi@live.jp)

に投稿お待ちしております。

何の名声欲も持たず、ただひたすら市民をはじめとした底辺の人々の目線の運動を行っている西さんのお話し、27人が参加した「10月のつどい」の報告です。

西さんの運動の原点は、1947年9月に生まれ育った貧しい村、鹿児島県喜人村生見町にあった。

多くの沖縄や鹿児島の人たちが関西へ移住していった人たち同様、5歳のころ公害の町尼崎市へ。そして1966年神戸大学へ入学。

当時見た映画のニュースで、「ベトコン」(南ベトナム解放民族戦線)と言われていたベトナム人が米兵に銃殺されているのを見て、西さんにはベトナム人と鹿児島農夫が同じ顔に見えた。それがきっかけでベトナム反戦運動に参加していった。

「ベトナムに平和を！市民文化団体連合」一ベ平連(1965年設立)とタイアップしながら全国規模の運動へ広がっていく。当時、ベトナム反戦運動で、アメリカ領事館(今の東遊園地の南側にあった)周辺で大きなデモが繰り返されていた。西さんたちは当時の機動隊員には鹿児島、沖縄の人たちが多く、この人たちにもデモの意味をわかってほしいという願いもあって、デモはいつも穏やかであった。ここにも市民目線が働いていた。

やがて卒業して働き始めた企業内の労働組合運動に専念。政党色の色合いが強かった労働組合運動ではなく、ここでも組合員の要求を大切に運動を行い、賃金や労働条件で大きな成果を獲得していった。

こうして、社会を変えていくには市民が寄り添って助け合わなくてはという思いから、東北・岩手のボランティア活動に6年参加し、そして今日の市民運動に至っている(2015年より)。

高齢化や若者との連携、政党との関係等、今日の市民運動の課題をしっかりと見つめ、今も粘り強く進めている市民運動。私たちも西さんの謙虚な地道な運動を学びながら、市民や子どもたちの平和で安全な未来のために憲法9条を守る運動を広げていきたい。そして、それが日本の民主主義の発展に繋がっていく展望をいただきたく。

たけし



## 両大国のはざままで～中国とアメリカの今

2022年もあと1か月を切り、早くもクリスマス、お正月商戦が始まっています。わが国の政治では旧・統一教会の問題をめぐり岸田政権の迷走が続き、コロナは再び感染拡大、明るい2023年はやってきそうにありません。そんな中、お隣の中国、海の向こうのアメリカでは5年に一度の共産党大会、2年に一度の中間選挙が行われ、両国の今後だけでなくその後の世界の動きをも占う結果が示されました。以下、新聞報道やネットでの記事をもとにちょっと見ていきます。

中国は、総書記が2期10年という慣行を破って、習近平が異例の3期目の総書記に、チャイナ7も自らの側近で固めるといって「独裁体制」を着々と固めた、とされています。世界では「社会主義」を標榜する国が次々と崩壊する中で、四千年の歴史を持つ中国は「強権」で一党支配を維持しているように見えます。もうすぐ人口でインドに抜かれるとはいえ、14億人の中国。このような一党支配は持続可能なのでしょうか。当面の課題は、「共同富裕」を実現し経済成長を維持できるのか、ゼロコロナ政策をこのまま続けるのか(維持できるのか)、が注目点でしょう。



一方のアメリカは4年に一度の大統領選の中間選挙、上院・下院の議員選挙で次期大統領選の行方を占うといわれています。バイデンの支持率は低下、共和党が優勢とみられていましたが、上院は民主党が過半数を維持、下院は共和党に過半数を取られましたが大きく引き離されることなく善戦という評価です。トランプ氏の影響力が注目されていましたが、一部に熱狂的支持者は存続しているものの、「トランプ離れ」が進んでいるようです。しかし、トランプ氏は2年後の大統領選に出馬することを大々的にアピールしました。アメリカにおける「分断」が言われて久しいですが、共和党が今後どうなるのか。トランプに引きずられるのか、ニューリーダーのもとに新たな共和党となるのか、2年後の大統領選も左右しそうです。

しかし、中国にせよアメリカにせよ、台湾をめぐって緊張関係が高まっており、軍事的なエスカレートが心配されます。安倍内閣時に集団的自衛権の行使を容認してしまった現在、アメリカの軍事行動に巻き込まれる危険性が十分考えられます。ロシアとウクライナの現状から防衛費拡大の大合唱が起きていますが、真に求められているのは戦争を防止する外交努力ではないでしょうか。(美賀多台 T K)

### ★2023年1月のつどい

2023年1月22日(日) 14:00～16:00

西区文化センター2階 第3会議室 参加費 300円

<講師> 山本昭宏氏(神戸市外国語大学准教授)

講師は1984年生まれの30代。メディア文化史、歴史社会学がご専門です。

### ★15回記念のつどいのお知らせ

2023年5月20日(土) 13:30開演

なでしこ芸術文化センター大ホール

劇作家 平田オリザさんの講演

神戸市役所センター合唱団出演

毎月発行しているニュース「つながり」は今月300号を迎えました。これまで多くの方々に紙面を飾って頂き、配布に協力して頂きました。感謝申し上げますと共に、これからもご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。より多くの皆さんに読んでいただけるよう努力してまいります。

## Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は2023年1月10日(火) 16:00～17:00 (コロナの感染状況で変更もあります)

歴史に学ぶ

ロシアのウクライナ侵略戦争は、日本人に戦争の危機を身近に感じさせました。その危機感、7月の参議院選挙で自公政権の軍事費倍増という主張を許す結果となりました。

その情勢の下で「神戸に平和記念館をつくる会」は「2022 神戸空襲と神戸港の写真展」を、兵庫区文化センターで11月1日～7日に開催しました。300人を超えるみなさんに見ていただき良かったと思っています。

これまで4回、長田区文化センターで開催してきましたが、初めて「戦時下の子どもたち」というテーマを付け加えました。連日のように放映されるウクライナの破壊された街が、戦時下の子どもたちを調べる気にさせました。

調べると学童疎開、学徒勤労動員、少年兵、戦争孤児といった戦時下だけでなく戦後までも、彼らの心身に大きな傷を与えた事態を知りました。戦争の悲惨さは伝えていく必要があります。

神戸空襲と戦争を知ったという100を超える感想があり、歴史に学ぶための記念館が必要という思いを強くしました。



(美賀多台 つだわたる)

「ジェンダーと平和の関係を考える」を聴いて

自分では男女平等は理解しているつもりだし、家事も負担してきました。口答えする息子たちに「誰に食わせてもろてんねん」と怒鳴りつけ、「お母さん！」と答えられても、苦笑いで済ませました。職場でも自分でコピーも取り、お茶も煎れました。なのでジェンダー問題は他人事とタカを括ってきました。



しかし、ご講演で根強い「性別役割割観」や「固定的家族像」、「ケアの遍在」の実態を伺い、旧弊が染みついていてと自覚しました。

家族を養う責任感を気負い、女房にはいつも綺麗でいろ、子育てが一番大切と押付けてきました。質疑でも出ましたが、男女平等(equal)の段階に留まり、歴史的、社会的に作られた性である「ジェンダーの平等」(same)には道半ばということでしょうか。

でもジェンダー差別はなぜこれほど根強いのか。男が多少でかくて強いだけの理由？ 腕力主体の狩猟社会の記憶？ ジェンダー再生産のしつこさ？ 「言うことを聞けば、守ってやる」というブーチン流論理に説得力？

一方、持久力や免疫力では女性が遥かに勝っていて、出産のハンディがあっても寿命は6年以上長いき、コロナの致死率も男性の1/3以下です。男が威張れる根拠は実は希薄かも？ だから、腕力が不要となるソフト社会では「ジェンダー平等/多様性」が一層リスペクトされる日が来る予感もします。ただし、朴木先生ご指摘の通り、平和な社会の建設が大前提でしょうが…(竹の台 タイガー)

ジョー旬

古狸 核の傘さし 綱渡り (伝伝)  
 大統領 意地を張るほど 人が死ぬ (空耳)  
 ほとんどは「女生徒」しゃべる 同窓会 (骨歩)

[y-onishi@live.jp](mailto:y-onishi@live.jp)

に投稿お待ちしております。

2022年12月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HP にリンク